

令和3年8月30日

教育長 鈴木誠二様

健康福祉局長 山田俊彦様

公明党名古屋市議員団

団長 田辺雄一

新型コロナウイルス感染症感染急拡大への対応に関する緊急要望

今年8月から始まった、いわゆる感染拡大「第5波」は感染力と重症化率が極めて強いデルタ株への置き換わりにより、本市内においても爆発的な感染拡大が続いている。

そんな中、8月17日に千葉県で新型コロナウイルスに感染して自宅療養中の30代の妊婦が、入院調整が行われたものの受け入れ先が見つからず、自宅で早産し赤ちゃんが死亡するという事例が起こり、全国の妊婦とその家族に大きな不安を与えました。昨年12月に県によって本市を含む県下の感染妊婦受け入れ態勢が整備されたと聞いているが、安全で安心な妊娠出産のためにはさらなる対策が急務である。

また、デルタ株の感染拡大の中で新学期を迎えるにあたり子どもたちと保護者は不安を抱えており、登校ができなくなっている子どもや登校を控えさせようとする保護者は少なくないことから、学校において様々な対策や配慮が求められる。

加えて、デルタ株は若年層でも重症化する事例があることや、現役世代の家庭内感染が多い実情を踏まえ、若者へのワクチン接種の促進が急務であることから、公明党名古屋市議員団として市当局に対して以下の点を要望する。

記

1. 学校における感染拡大防止対策として、分散登校の検討や規模を問わないオンライン授業の実施を進めるとともに、部活動の実施等にも格段の留意をすること。
2. 学校においては、コロナ禍の中で子どもたちも大きなストレスや不安を抱えていることから、自殺予防や心と体の変調に配慮した対応をすること。
3. 新型コロナに感染した妊婦が、いかなる状況でも安全な出産ができる体制を更に強化すること。
4. 若者が新型コロナワクチンの接種がしやすい体制を早急に整備すること。

以上